

御幸ふるさとネットだより 第15号

御幸学区ボランティアセンター 【発行】令和5年3月

コロナと共存生活へ

御幸学区ボランティアセンター
運営委員長 山上 サチ子

2020.1.15 日本国内に初めて上陸した新型コロナウイルス感染症はその後、大流行とやや減少の兆しを8回の波を繰り返して、およそ3年あまり、マスク生活も緩和へと移りました。いよいよコロナも「生活の中にある病気」と捉える生活スタイルとなるようです。少しずつコロナ前のような、人と人との交流の場が広がり、明るい楽しい町内に戻ってほしいですね。「サロン」や「体操教室」なども徐々に再開されつつあります。体力低下防止、明るく元気な日々等のためにも是非お出かけ下さい。

また、日々の生活の中で困りごとなどがございましたらご遠慮なくお申し出下さい。

御幸学区ボランティアセンターは、
10周年を迎え、「創立10年間のあゆみ」
をつくりました。
御幸公民館 玄関ホールにございます。
ご覧くださいませ。



お待たせしました！！

おはなしサロンの再開予定のお知らせ

5月16日(火) 10時~11時30分 御幸公民館 和室

参加費100円

6月から 毎月 第1・3火曜日に行います

電話 955-0392 (御幸公民館)

みゆきさん活動報告

活動の一部を紹介します

依頼者A様 80才代 男性 一人暮らし

依頼内容 部屋の掃除 毎週 1回

3年余りのお掃除ボランティア…依頼者の方の日々の暮らしのお手伝いをさせていただき喜んでいきます。

前向きで明るい性格の方で私達も遣り甲斐を感じています。介護ベッドを希望された時は民生委員の方が直ぐに対応して下さい、とても感謝して頂きました。これからもお役に立てる様に信頼関係を築いていきたいと願っています。

依頼者B様 80才代 女性 一人暮らし

依頼内容 部屋の掃除 随時

足を痛めておられ2階にはほとんど上がれないので部屋のかたづけをしました。

依頼者C様 90才代 女性 高齢者世帯

依頼内容 ゴミ出し 週2回

ゴミを取りに何うといつもお手紙が添えてあります。ある日のお手紙を紹介します。

いつの間にかこういうお手紙が励ましになりボランティア活動を続けることが出来ました。

これからも人とのつながりを大切にしながらお手伝いが出来たらいいなと思っています。

今週も宜しくお願い致します
今日は風が強くてひんやりしませね 体調もさ
よろしね 申し訳ないと思っております
休む時間も心まかせに休ませたいと思っております
不調の時は、言葉が、さうなすまいません
、また、お電話にすぐなすまいません、へへへで
笑うふもあや
家の中ばかりで生活が、マク、ストレスがたまら
んやすね 悪いとは思いますが、マク、お孫はまたか
つみお願ね。 待てるようにね

依頼者D様 70才代 女性 高齢者世帯

依頼内容 草取り

家族の介護の生活の中で圧迫骨折をされて依頼されました。

草を取った後にできたゴミは、隣の若い方が「燃えるゴミの日にはボクが持って行きますよ」と言って下さったので、大変助かりました。



安芸太田町へ御幸学区ボランティア活動をビデオ報告しました！

コロナ禍ということもありビデオで参加しました。事前に広島県社会福祉協議会の方が来られ説明をしていただき、後日ビデオ撮影にのぞみました。

福山市社会福祉協議会のまちづくり課主幹沖藤隆さんの司会で5人それぞれボランティアになったきっかけ等を発表しました。



困りごと受付中

ボランティア
募集中

